

1 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A項

- a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
- b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。
- c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B項

- a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。
- b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C項 次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

\*字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。たとえば「…とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

\*ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

- a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。
- b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。
- c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたものの。
- d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

【一】山折哲雄『ひとりの覚悟』

問一 7点

- |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 系譜 | 2 | 屋敷 | 3 | 恩恵 | 4 | 亀裂 |
| 5 | 幻想 | 6 | 万物 | 7 | 契機 |   |    |

問二 9点

(模範解答例)

A○5点  部が読み取れない場合は2点 B○4点

神に選ばれた強い者だけが生き残り発展することで人類に繁栄をもたらすという考え。  
(37字)

別解

A○5点  部が読み取れない場合は2点 B○4点

神に選ばれた、自ら進化して競争に勝てる強者にこそ生き残る価値があると考える。  
(39字)

【全問を通して】

- ・制限字数の半分に満たないものは不可。
- ・誤字・脱字・不適切な表記等は1点を減じ、ひとつの解答において同意語句で複数回同じ誤字があった場合は一回のみ減じることとする。

【A・Bに関して部分採点を行う】

A 「神に選ばれた者」 だけが「生き残る」もしくは

「神に選ばれた者」 「こそ」「生き残れる」

という内容が適切に表現されていれば5点を加えるが、 部の表現が読み取れない場合は2点の加点とする。

B Aによって「人類に繁栄をもたらす」という内容が適切に表現されていれば4点を加える。

また「(生き残る) 価値がある」という表現が適切に表現されていれば4点を加える。

問三 9点

(模範解答例)

A ○3点

B ○3点

競争による進化や繁栄を目指すとともに、そこから生まれる差別や不安を解消し

C ○3点

全体のバランスをとること。

(49字)

【Bに必ず触れることを前提として、A・B・Cに関して部分採点を行う】

A 西欧の生き残り戦略である競争や進化によって繁栄を目指す内容が適切に表現されていれば3点を加える。

B 競争による差別や不安を解消することについて適切に表現されていれば3点を加えるが、この点について触れていない、または表現が適切ではなくて読み取れない場合は、全体を0点とする。

C 「全体のバランスをとる」や「折り合いをつける」といった東洋と西洋の折衷的な内容が適切に表現されていれば3点を加える。

問四 10点

(模範解答例)

A ○4点

再生と循環で社会を再構築して深刻な地球環境問題を解決するため、

B ○3点

C ○3点

個人主義的な欧米流の民主主義から自然と共生する多元的な価値観を持つ

★前提

日本流の民主主義に転換すること

(80字)

【前提を踏まえた上でA・B・Cに関して部分採点を行う】

前提 解答の柱を「日本流の民主主義の採用」が適切に表現されていることとし、それが読み取れない解答は不可とする。

A 「再生と循環」によって「地峡環境問題を解決すること」が適切に表現されていれば4点を加える。

B 「欧米の民主主義」について触れ、それが「個人主義的」であるという内容について言及してあれば3点を加える。

C 「日本の民主主義」について触れ、それが「自然と共生する多元的な価値観」を有することについて言及してあれば3点を加える。

問五 15点

(模範解答例)

A〇5点

人を選別せず生と死を一緒に捉える考え方を用いることで、

B〇5点

弱肉強食の個人主義的な考えが変更できなくても、

C〇5点

永遠なものではなくすべてが無常でありながら循環し再生を繰り返す多元的な価値観を

共有できること。(97字)

【A・B・Cに関して部分採点を行う】

A 「生と死を一緒に捉える考え」について適切に表現されていれば5点を加える。

B 「欧米流の民主主義を捨てることはできない」とそのまま書かれていれば3点を加えるにとどめるが、「個人主義的な考え方を変更できない」のような抽象化した表現で適切に論じていれば5点を加える。

C 「多元的な価値観の共有」という内容のみ書かれていれば3点を加えるにとどめるが、「永遠なものではなくすべてが無常でありながら循環し再生を繰り返す」という内容までが適切に表現されていれば5点を加える。

二 加藤重広『言語学講義』

問一 7点

(模範解答例)

A ○ 3点

B ○ 4点

新たな地域で他地域と区別するようアイデンティティを持つため。  
(30字)

【Bの記述を前提としてA・Bに関して部分採点を行う】

A 「新しい地域を作ること」と「そこを他地域と区別すること」の両面において適切に表現されていれば3点を加える。

B 「新しく異なった」アイデンティティをつくること、もつこと」が適切に表現されていれば4点を加えるが、ここに言及せずにAのみ解答しても0点とする。

問二 10点

(模範解答例)

A ○ 3点

異なる言語を持つ民族同士の一時的な意思疎通の言語が、  
B ○ 4点

長期的な接触の中で完成度が上がり、

C ○ 3点

次世代の言語として定着すること。(59字)

【A・B・Cに関して部分採点を行う】

A 「何が」にあたる部分)「ピジン」について、「異なる言語を持つもの同士の意思疎通の言語」といった内容が適切に表現されていれば3点を加える。

B 「(「どうすることによって」にあたる部分)「①長期的な接触」で「②完成度が上がる」について適切に表現されていれば3点を加えるが、①②いずれかにしか触れていない場合は2点とする。

C 「(「どうなった」にあたる部分)「次世代の言語として定着」や「次世代が習得」といった内容が適切に表現されていれば3点とする。  
ただし「新たに定着」など次世代に触れない曖昧な表現は不可とする。

問三 8点

(模範解答例)

A○3点

B○5点

元の民族の性質に、母語の成立に影響を与えた他民族の性質が加わること。 (34字)

【A・Bに関して部分採点を行う】

A 元の民族には元々の性質が存在することについて適切に表現されていれば3点を加える。

B (元の民族の性質に)他の民族の性質が加わるという内容が適切に表現されていれば5点を加える。ただし、「影響を受ける／与えられる」という表現は曖昧さを残すため3点を加えるにとどめる。

問四 10点

(模範解答例)

A○3点

B○3点

影響を与えた言語の文法化によって、作られた言語が現地語の特徴を残しつつ、

C○4点

より使いやすくなる機能。 (48字)

【Cの解答を前提としてA・B・Cに関して部分採点を行う】

A 「影響もとの文法化(によって)」について適切に表現されていれば3点を加える。

B 「作られた言語も現地語の特徴を残している」ことが適切に表現されていれば3点を加える

C 「機能が使いやすいものになる」ことが適切に表現されていれば4点を加えるが、この点に触れていない、または適切に表現されていない場合は全体を0点とする。

問五 15点

(模範解答例)

A〇5点

日本語の成立に全く異なる言語の中国語が影響するように、

B〇5点

異なる方言が接触して新たな方言を作るなど、意志疎通のために使われた言葉が新たな母語

として定着するといった、

C〇5点

どの言語も多くの言語接触をしているから。(100字)

【A・B・C・Dに関して部分採点を行う】

A 「ある言語が成立の全く異なる言語の影響を受けること」ように「影響の存在」について、内容を具体例を用いても用いなくても構わないので、適切に表現されていれば5点を加える。

B 「①異なる方言の接触で新たな方言を作る」といった事例をふまえて「②新たな母語(言語)として定着すること」が適切に表現されていれば5点を加える。ただし①について触れていなければ3点の加点にとどめ、②について触れていなければ0点とする。

C 「どの言語も言語接触をしている」ことが適切に表現されていれば5点を加える。

三 日野名子『竹むぎが記』

問一 (イ) 「当然のこと」ではあめだろうけけれど【③点】

ア―①点。「しかるべき・そうあるべき・当然の・道理の・もつともな」など。

イ―①点。断定「で・である」＋推量「だろう」。完答

ウ―①点。逆接「が・けれど・のに」など。

(ハ) 「しばらく」(北山に) 「いらつしやる」【③点】

ア―①点。「しばらく・少し(の間)・かりそめに・ちよつと」

イ―②点。「居る」の尊敬語。「いらつしやる・滞在なさる」など。

(ホ) (侍従の君に) 「漢籍を」人々が「読ませ」申し上げると【③点】

ア―①点。「漢文・漢籍」など。 日々教養として読むものであるので、「手紙・文」は×。

「学問を読む」も言葉としておかしいので不可。

「漢詩」は詩に限らないので不可。「詩」も不可。

イ―①点。「読む」＋使役(させる)。「人々」が「侍従」に。

ウ―①点。謙譲語「く申し上げる」＋順接「すると・したところ」ので。完答

問二 「まだ幼い侍従の君が北山に移るにあたって、」母である作者が「付き添う」べきであるという道理。【⑤点】

ア―②点。実俊が北山に入る(移る・住む)こと。

イ―①点。作者(母親)が。

ウ―②点。実俊に付き添う(ついていく・共に行く)こと。実俊とともに北山に入ること。

問三 「侍従の君を」南殿に住まわせて、「朝夕手元に呼び寄せては」かわいがっている様子。【⑤点】

ア―①点。(女院が)侍従の君(＝実俊)を。

イ―①点。(北殿ではなく)南殿に住まわせたこと。

ウ―①点。朝夕呼び寄せて。

エ―②点。かわいがっている・話し相手をしている・お世話をしている・面倒をみている。

問四 「侍従の君の歌の素質を見ると、」歌道の家である「西園寺家の将来も安泰だ」ということ。【⑥点】

ア―②点。実俊(侍従の君)の歌。↑よくできている。各①点

イ―②点。西園寺家は歌道の家柄であることがわかれば可。

ウ―②点。西園寺家は安泰である・繁栄する・絶えない。完答



【四】 紀昀『閱微草堂筆記』

問一 各2点×4＝計8点

A Ⅱより                    B Ⅱたちまち

C Ⅱけだし                D Ⅱひそかに

▼いずれも解答通り。

問二 5点

いまだとつがずして / しゆつし、 / すでに / はうむらる。

●以下のように、四分割して採点します。

① いまだとつがずして	2点
② しゆつし	1点
③ すでに	1点
④ はうむらる※	1点

▼現代仮名づかいは不可。

▼①↓②↓③↓④の順序になっていない場合は全体として加点なし。

▼句点「。」の有無は不問。

▼①②③は解答通り。

※④については「はうむる」「はうむれり」も可。また「葬」をサ変動詞「葬す」ととらえた「さうせらる」「さうす」「さうせり」も可。

問三 5点

そこで茉莉花の根をすりつぶして服用し、／ 死んだふりをして ／ 自分が埋葬されるのを待ってから、墓をあばいて男と一緒に逃げた。

●以下のように、三分割して採点します。

- |   |                                 |    |
|---|---------------------------------|----|
| ① | そこで茉莉花の根をすりつぶして服用し、             | 2点 |
| ② | 死んだふりをして                        | 2点 |
| ③ | 自分が埋葬されるのを待ってから、墓をあばいて男と一緒に逃げた。 | 1点 |

※①は「そこで茉莉花（ジャスミン）の根をすりつぶして服用した」と同内容の訳であれば可。設問の指示があるので、「茉莉花（ジャスミン）」に触れていなければ不可。

※②は「死んだふりをして」「死んだように見せかけて」「死んだと思わせて」「自分は死んだと周囲をだまして」など、茉莉花の根を利用して「死んでいないのに、死んだように装った」点を表現できていれば可。

※③は「自分が埋葬されるのを待って墓をあばいて男と一緒に逃げた」と同内容の訳であれば可。娘が死んだように見せかけて、いったん「土に埋められる」←「墓をあばいて（＝掘り出して）一緒に逃げる」という過程を踏まえて訳してあればよい。なお「自分」「男」に触れていなくともよい。

▼句点「。」の有無は不問。

親が決めた相手ではなく好きな相手と結婚するために、／ 薬で仮死状態になって一旦埋葬されるという、／  
どんな法律でも裁けない ／ 奇想天外な方策を実行したから。

●以下のように、四分割して採点します。

- |                             |    |
|-----------------------------|----|
| ① 親が決めた相手ではなく好きな相手と結婚するために、 | 1点 |
| ② 薬で仮死状態になって一旦埋葬されるという、     | 1点 |
| ③ どんな法律でも裁けない               | 3点 |
| ④ 奇想天外な方策を実行したから。           | 2点 |

※①は「好きな相手と結婚するため」「駆け落ちをするため」など、犯行動機を正しく表現できていれば加点。

※②は「死を装う」「死んだふりをする」「薬(茉莉花・ジャスミンの根)で仮死状態になる」「一旦埋葬される」  
など、犯行内容に触れていれば加点。

※③は「(女が)法律では裁けない(ことを実行した)」など、どの法律に照らしても裁けない点に何らかの形で  
触れていれば加点。

(④の要素に触れずに「法律で裁けなかったから」「条文にないことをしたから」「法律にはなかったから」  
とした答案が多いと思いますが、いずれも3点加決してください。)

※④は「(現行の法律が想定していない)奇想天外なことを実行したから」など、通常であれば思いつきもしな  
い、法律家の想像の上をいくことを、女が思いつき実行してみせたからという点に何らかの形で触れていれば  
加点。

(周囲をだまして駆け落ちを敢行した男女は、法律の抜け穴を故意にねらったわけではなく、親の決めた結  
婚から知恵を尽くして逃れた結果、法律の条文にない想定外の犯行を実行しただけのことなので、その点  
に触れた「奇想天外」「想定外」「予想できない」といった要素が欲しいです。)